

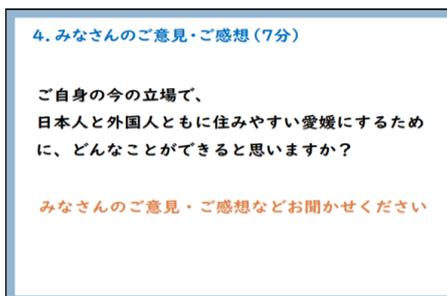
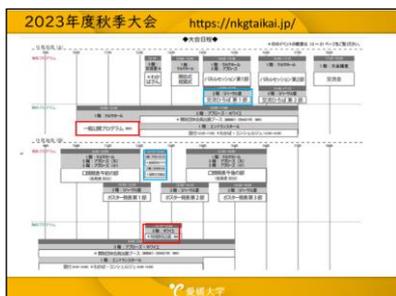
2023 年度四国支部活動 秋季大会参加報告会

主 催：公益社団法人日本語教育学会
開 催 日：2023 年 12 月 15 日（金）16:20～17:50
会 場：オンライン開催
参加人数：32 名（会員 10 名、一般 22 名）

この報告会は「日本語教育学会 支部活動」の応募企画として、2017 年から開催しています。目的は、学会参加の機会のない愛媛県内を中心とする四国地域の日本語教育関係者に学会の情報を提供することですが、今回も過年度に引き続き、オンラインで開催しました。当日の参加者は 32 名で、内訳は、愛媛県を中心とした、四国内の日本語教師、留学生を含む学生（学部生・大学院生）、日本語ボランティア、日本語ボランティア団体や行政の関係者と多岐にわたっていました。

6 月の春季大会報告会同様、今回もまず参加者を 3 つの小グループに分け各ブレイクアウトルーム（以下 BOR）に移動。そこに今回の報告者 3 名が入室し、前半 10 分で報告・後半 10 分で意見交換を 1 セッションとし、20 分経過すると報告者が BOR を移動するという形式で実施しました。3 件の報告終了後、参加者は、自分が興味をもった報告者の BOR に入室し意見交換を深め、最後まで活発な話し合いが行われていました。報告会後のアンケートでは、「参加していなければ知ることができなかった情報がたくさんあり面白かった」「『その地域に必要なことをする』という考え方を再認識し、今後、市町ご担当者との協議においてその姿勢を忘れないようにしたいと思いました」という方もいらっしゃいました。また、報告後半のフリートークについては「参加されている皆さんとの意見交換や感想等を伺うことができ、大変勉強・参考になりました。」等、参加者全員での意見交換に対する肯定的な意見が見受けられました。一方で、「時間が短すぎる。もう少し報告に時間をじっくり伺いたかった」「もっと深掘りしてほしい」「Zoom 使用時の不手際が気になった」といった今後の報告会運営に対する示唆に富んだ要望もありました。なお、この支部活動は、愛媛大学国際連携推進機構国際教育支援センターと共催で行われました。

過年度に引き続きのオンライン開催となりましたが、今回も無事に終わることができました。この場を借りて、本支部活動にご参加くださった皆様、そして、本支部活動の開催のためにご協力くださった四国支部活動委員ならびに支部活動運営協力員を中心とする関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。



左：実際の学会の大会 HP も使って説明しました。

右：報告の最後に報告者が質問を投げかけ、意見交換の切っ掛けとしています。

（報告者：支部活動運営協力員 高橋志野）